

翌檜 ~習慣は力なり~

旭川永嶺高校
進路指導部通信
令和7年6月9日
1・2年次版第2号
(文責 仲俣)

学習スタイルを見直そう

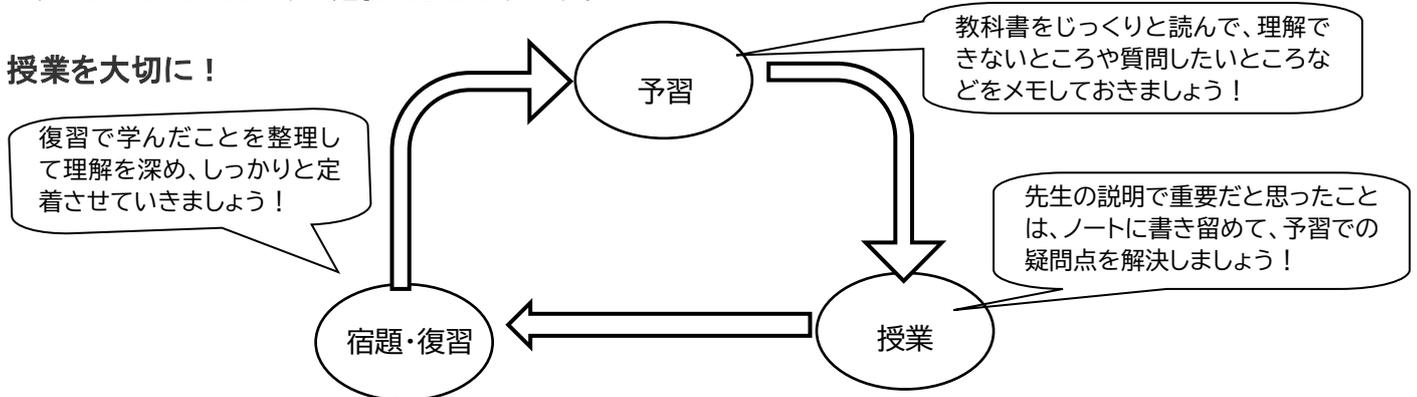
前期中間考査が終わりましたね。1年次生は高校生活にも慣れてきた頃でしょう。全道大会に進むみなさんは、考査の合間も部活動があり、大変な日々を過ごしていたことと思います。ほっと一息ついたところでしょうか。

しかしながら、この考査が終わるタイミングは、4月からの生活習慣、学習スタイルの見直しのよい時期です。考査の取り組みがうまくいって、結果に満足している人はよいですが、あまり納得できない結果になったような人こそ、普段の生活リズムを整え、学習スタイルの見直しが必須です。担任の先生方と面談で話した生活リズムは守れていますか？ここから夏休みまでは部活動や学校祭の準備など学校生活が特に忙しい時期になりますが、時間を有意義に使えるように確認しましょう。

生活リズムの見直し

学習記録をつけている皆さんは、少しずつ勉強時間を多くとれるようになってきていると聞いています。大変素晴らしいことです。でも疲れて寝てしまう日も多いという人もいるのではないのでしょうか？もちろん一日中部活動があっても疲れていたとか、旅行にでかけたとかいう日はよいのです。しかし「一週間に何度も」は、いけません。大切なことは、なるべく「勉強しない日をつくらない」ことです。5分でも10分でもいいから毎日取り組む。例えばJRやバスで通学している人はその中で英単語の勉強をすることもあっていいでしょう。朝少し早く来て、学習室で20分勉強するというのもよいでしょう。「1日でいっぺんにやらず、次の日に残す」「問題集や参考書を開いたらすぐとりかかれるようにしておく」のがコツだと卒業生も言っていました。「お風呂に入らない、歯を磨かないと気持ちが悪い」と同じような感覚で、「勉強しないと気持ち悪い、明日の準備ができてないと嫌だ」って思うようになってくるとおのずと勉強できるはずですよ。

授業を大切に！



いくら家庭学習が大事といっても、やはり1日50分×6時間もある授業をどう受けて有効に活用するのがとても大切です。1時間の授業で学んだことはちゃんと理解することを目指しましょう。学習スタイルの基本は、[予習]→[授業]→[復習]です。まずは、予習をして、わからない所がどこかを明らかにしたうえで、授業に臨みましょう。そうすることで、自分が聞かなければならない所に特に集中して、授業を受けることができます。(インプット)。そして復習をすることで理解度を確認し、さらに知識を定着させることが大切です。復習とは、もう一度授業でやったことを再現できるか、学んだことを活用できるかということ。今日、こんなことを勉強したなど思い出してみる。問題を解いてみるのもよいでしょう。(アウトプット)。もし理解できていない所があれば、先生に質問しに行くなどして、できるだけ早く解決しましょう。理解できたと思えるようになるまで何度も復習しましょう。

自分が理解できていなかった所は、1週間後に再度復習をするとより効果的です。

復習の
間隔

(さらに1ヶ月後にやれたら、確実！！)部活動が忙しく、その日のうちにできなかった場合は、週末に補うなど自分にあった学習スタイルを確立しましょう。

オープンキャンパスにいこう

オープンキャンパスはキャンパスの雰囲気を感じつつ、学ぶ内容や入試方法、学生生活などに関する様々な情報が得られるイベントです。オープンキャンパスに行ったことで、「行きたい」気持ちが強くなって、今後のモチベーションにつながったという話も聞きます。先輩たちも行くことを薦めています。積極的に参加したいものです。

夏休みに、オープンキャンパスや学校説明会に参加しようと考えている人も多いでしょう。

実は、その申し込みが、6月から行われるところもあるのです。「気付いたら申し込みが終わっていて、いけなかった・・・」なんてことにならないように、気になるところのHPをチェックしてみましょう。

(申し込みが始まっているところもあるかもしれません)

ただし、近くにあるところで、何度も足を運べるようならよいですが、貴重な機会に、何も考えずに行くのではもったいない。主体的に大学・専門学校で知りたいことについて事前に整理しておきましょう。

オープンキャンパスで見るとべき・考えるべきことは…

①学ぶ内容は？

同じような学部・学科でも大学・専門学校によって学べる内容や特徴が違うもの。その内容は自分が学びたい学問と合致しているかどうか、どんな方法で学ぶのか、また、履修できる授業や身につけられる資格や技術・知識は何か、細かく確認しよう。

②求めている学生像・求められる力は？

要項やパンフレットでもわかるところはあるけれど、実際に話を聞いてみると、その大学・専門学校の思いが理解できるはず。理解を深めるためにもしっかり聞いてこよう。

③大学の雰囲気や施設は？

先生方や学生の様子を見たり感じたりすることは大切なこと。在校生に相談できる時間を設けていることもあるので、気になることは確認してこよう。先輩から聞いたリアルな話が学校選びに有効なことも多いようです。

④受験方法や特待制度などは？

質問会などで気になる内容はしっかり聞いてきましょう。過去問を配布しているようなところもありますよ。

楽しただけで終わりにならないよう、行った後は必ず記録をしておき、「誰から、どんな話を聞いたのか」「どこで、何を見たのか」「自分はそこで、何を感じ、何を考えたのか」「これから受験までに自分が何をすべきか」を整理して、志望を強くしましょう。

いろんな学校を見比べてみよう

可能なら、学びたい内容のある学校を複数みておくことをおすすめします。もしかしたら、もっと自分に合うところがあるかもしれません。また、別の学校を見ることで、「こういうところがこの学校がすばらしいな」といった自分の行きたい学校の魅力がより感じられることもあります。1つだけみていいと思っているより、比較してみると自分の思いがより明確化するものです。

オープンキャンパスに行けなくても…

(1)各大学・学校のHP・入学者選抜要項をチェック！

7月末までには私立大学だけでなく国公立大学の入学者選抜要項が発表されることになっています。今年の3年生の選抜の方法ですが、変更がある場合もありますので、自分の目で見て確認しておくことをおすすめします。

(2)夢ナビのぞいてみませんか？

夢ナビ(<https://yumenavi.info/>)と検索すると出てきます。登録が必要ですが、大学の先生方の講義が無料で見られます。自分が考えている大学の講義もあるでしょうし、希望する大学とちがってもいろいろな学問の講義を聴けるので、視野が広がります。